

令和6年度 埼玉県薬物乱用防止教育研修会開催要項

1 趣 旨

近年、大麻事犯が増加傾向を示し、検挙人員は過去最多を記録するなど、大麻乱用期の渦中にある。また、処方薬や市販薬の過量服薬による健康被害が増加するなど、近年の子供を取り巻く薬物乱用に関わる現状は憂慮すべき状況にある。

そこで、薬物乱用防止に関する指導の充実を図るために、学校における薬物乱用防止教育の考え方・進め方と薬物乱用防止教室における効果的な指導法についての研修会を行い、学校における薬物乱用防止教育の推進を図るものである。

2 主 催 埼玉県教育委員会 埼玉県学校保健会

3 日 時 令和6年8月23日（金） 午後2時から4時30分 （サイトオープン1時30分）

4 開催方法 Zoomによるオンライン開催（定員：450人）

5 対 象 ・公立小、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員 ・市町村教育委員会、教育事務所の職員 ・学校薬剤師等、その他の薬物乱用防止教育に関係する者

6 申込方法 電子申請システムによる事前申込み

7 日 程

13:30 14:00 14:10 14:50 15:00 16:15 16:25 16:30

受	開	行	休	講	質	閉
付	会	政	憩	演	疑	会
	行	説			応	行
	事	明			答	事

8 内 容

- (1) 行政説明 (1)「教育局の取組について」 県立学校部保健体育課
(2)「児童生徒の実態について」 市町村支援部生徒指導課
(3)「埼玉県の薬物乱用対策について」 保健医療部薬務課

- (2) 講 演 演題：「助けて」が言えない子どもたち
—市販薬の乱用・依存と参加型の薬物乱用防止教育—

講師：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所薬物依存研究部心理社会研究室長

嶋根 卓也 氏